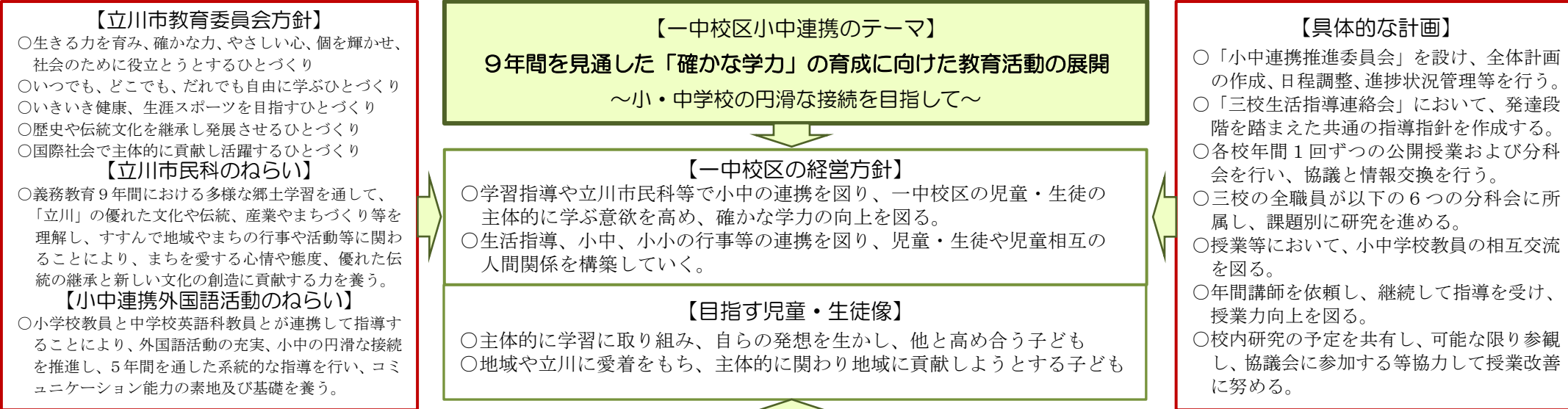


平成28年度 立川一中校区小中連携教育推進計画（立川第一中学校・第一小学校・第四小学校）



【立川市教育委員会方針】

- 生きる力を育み、確かな力、やさしい心、個を輝かせ、社会のために役立とうとするひとづくり
- いつでも、どこでも、だれでも自由に学ぶひとづくり
- いきいき健康、生涯スポーツを目指すひとづくり
- 歴史や伝統文化を継承し発展させるひとづくり
- 国際社会で主体的に貢献し活躍するひとづくり

【立川市民科のねらい】

- 義務教育9年間における多様な郷土学習を通して、「立川」の優れた文化や伝統、産業やまちづくり等を理解し、すすんで地域やまちの行事や活動等に関わることにより、まちを愛する心情や態度、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する力を養う。

【小中連携外国語活動のねらい】

- 小学校教員と中学校英語科教員とが連携して指導することにより、外国語活動の充実、小中の円滑な接続を推進し、5年間を通した系統的な指導を行い、コミュニケーション能力の素地及び基礎を養う。

【一中校区小中連携のテーマ】

9年間を見通した「確かな学力」の育成に向けた教育活動の展開

～小・中学校の円滑な接続を目指して～

【一中校区の経営方針】

- 学習指導や立川市民科等で小中の連携を図り、一中校区の児童・生徒の主体的に学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上を図る。
- 生活指導、小中、小小の行事等の連携を図り、児童・生徒や児童相互の人間関係を構築していく。

【目指す児童・生徒像】

- 主体的に学習に取り組み、自らの発想を生かし、他と高め合う子ども
- 地域や立川に愛着をもち、主体的に関わり地域に貢献しようとする子ども

【具体的な計画】

- 「小中連携推進委員会」を設け、全体計画の作成、日程調整、進捗状況管理等を行う。
- 「三校生活指導連絡会」において、発達段階を踏まえた共通の指導指針を作成する。
- 各校年間1回ずつの公開授業および分科会を行い、協議と情報交換を行う。
- 三校の全職員が以下の6つの分科会に所属し、課題別に研究を進める。
- 授業等において、小中学校教員の相互交流を図る。
- 年間講師を依頼し、継続して指導を受け、授業力向上を図る。
- 校内研究の予定を共有し、可能な限り参観し、協議会に参加する等協力して授業改善に努める。

数学・算数部会

- ◆小・中学校学習指導要領の共通理解（指導方法の検討・カリキュラムの作成）
- ◆「東京ベーシック・ドリル」の活用
- ◆「一中サマースクール」への小学校教員派遣事業
- ◆評価方法の検討
- ※平成27年度の成果と課題を踏まえての実践

理科部会

- ◆小・中学校学習指導要領の共通理解（指導方法の検討・カリキュラムの作成）
- ◆小学校の授業への中学校教員の派遣事業（TTでの授業の実施）
- ◆合同研修会の実施（小学校の理科実験の実習等）
- ◆評価方法の検討
- ※平成27年度の成果と課題を踏まえての実践

体育部会

- ◆小・中学校学習指導要領の共通理解（指導方法の検討・カリキュラムの作成）
- ◆小学校の授業への中学校教員の派遣事業（TTでの授業の実施）
- ◆合同研修会の実施（小学校教員への実技指導等）
- ◆評価方法の検討

外国語活動・英語部会

- ◆小・中学校学習指導要領の共通理解（指導方法の検討・カリキュラムの作成）
- ◆小学校の授業への中学校教員の派遣事業（年間10時間）
- ◆中学校教員による出前授業
- ◆評価方法の検討
- ※平成27年度の成果と課題を踏まえての実践

●立川市民科部会●

- ◆立川市民科カリキュラムの再検討（「多摩武蔵野検定」・「職場体験報告会」の実施）
- ◆立川市民科実施に向けた調整（各校の情報交換・進行管理・連絡調整）
- ◆立川市民科実施計画の作成
- ※平成27年度の成果と課題を踏まえての実践

●特別支援学級部会●（立川一中・一小）

- ◆特別支援学級カリキュラムの検討（9年間の重点指導カリキュラム作成）
- ◆児童・生徒理解（情報交換、個別指導計画・個別支援計画の作成）
- ※平成27年度の成果と課題を踏まえての実践

【学力向上の現状と課題】

平成26・27・28年度「教育力向上推進モデル校」となったことを受け、「学力向上パートナーシップ事業調査研究校」としての成果や昨年度の各部会での課題を踏まえ、習熟度別授業や補習教室等を実施し、基礎的な知識や技能を活用するための思考力・判断力・表現力の育成に力を入れていく。

【生活指導・児童生徒交流の現状と課題】

不登校等の学校不適応や特別な支援を要する児童・生徒の情報交換の他、授業規律や生活指導のルール共通理解を進めている。昨年度途中から、校区としての共通理解を図るべく、三校生活指導連絡会をスタートさせ、9年間の発達段階を踏まえた指導指針やSNSルール等を作成していく。小学校運動会ボランティアや部活動体験・授業体験等の交流活動の取組は継続する。

【立川市民科、英語・外国語活動に関する現状と課題】

各校年間1回ずつの公開授業と分科会を行い、情報交換と協議の場をもっている。中学校英語科の教員の小学校派遣についても、内容の充実を図り、学力向上につなげたい。また、特に小学校高学年から中学校への円滑な接続を目指し、一中校区の特性を活かした立川市民科を実施していく。